



# 志津南 NEWS

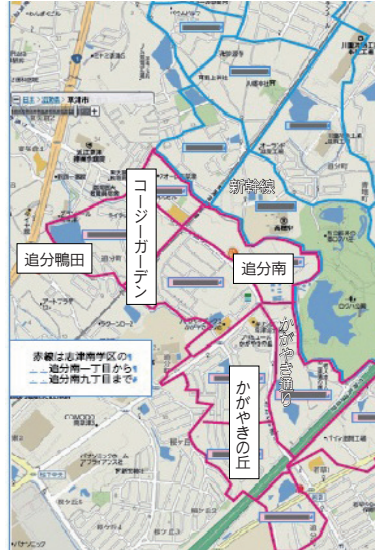
志津南ホームページ  
<http://waka-kusa.net/>

発行  
 志津南地区まちづくり協議会  
 連絡先  
 草津市志津南市民センター  
 077-563-6206

## まち協だより

第2回理事会 (平成25年5月2日)

- 各団体の活動費の執行について、次の通り決定した。
  - 「活動単位」で予算を超過する場合、各団体の年間総予算の範囲内で流用ができる。
  - 「各団体の総予算」を超えて活動を実施する必要がある場合は、事前に本部の承認を得る。金額によっては、理事会の承認も得る必要がある。
- まちづくり協議会の最高議決機関は総会で、理事会は総会に次ぐ議決機関であり、執行機関・調整機関でもあること。構成員である理事は、議決・執行・調整の権利と権限が与えられているとともに、大きな義務と責任を負っていることが、会長から伝えられた。
- 町内会の役員は輪番制であるが、各町内会の会則には、役員選定にあたっては諸事情に配慮するような規定がある。しかし、その実効性には疑問があり、不安を抱いている方、転居を考えている方もいる。そこで、「町内会長会」というような会議体を設けて、対策を協議してもらおうこととした。



昭和62年度から「若草町内会」を順次分町し、各丁目ごとに町内会が設立され、「若草町内会」は、8つの町内会で構成する「若草自治会」と改称されました。

## 追分4町内会が志津南まち協加入申し入れ

### 学区内活動の共通化目指し 志津地区まち協から脱退決める

志津南小学校区にある追分南、かがやきの丘、コージガーデン、追分鴨田の4町内会が5月24日、志津南地区まちづくり協議会への加入を申し入れてきました。

飛鳥グリーンヒルの入居が始まったのは昭和58年12月、以来29年半が経ちます。昭和59年度に志津南小学校区の一町内会として「若草町内会」が発足し、「志津学区自治連合会」に加入しました。昭和62年度には志津南小学校が開校しましたが、「若草町内会」は志津南小学校区の一町内会のみで

たが、依然として「志津学区自治連合会」を構成する一町内会でした。平成9年に志津南公民館が完成したことを契機に平成10年度に「若草一〜八丁目町内会」に、岡本町町内会から分町した「岡本町西町内会」を加え、9つの町内会で構成する「志津南学区自治連合会」として、志津学区自治連合会から分離独立しました。

その後、平成17年度に通学区区域が変更され、追分町の一部の地域が志津南小学校の通学区区域となりました。その結果、追分町の一部の地域は、通学区志津南小学校でも、地域活動は志津南地区に所属するという形となり、「小学校区(学区)」と「地区」が異なる状況になりました。この「小学校区(学区)」と「地区」の二重性により、志津南小学校区に組み込まれた地域の子どもたちにとって各種行事などで好ましくない状況が現在まで続いています。

また、この通学区区域の変更に伴い、志津南学区自治連合会と改称、現在の「志津南地区まちづくり協議会」に至っています。一方、追分町は平成24年11月に、志津南小学校区に属する地域の町名が、追分一〜八丁目に変更され、平成25年11月には、志津南小学校区に属する地域の町名が追分南一〜九丁目に変更される予定です。

た。これを受けて志津南まち協は、住民の意見も聞いた上、協議、検討することになっています。

追分町町内会ではこの状況を踏まえて、平成25年4月7日の総会で今年度末で「追分南町内会」を分町することにしました。

志津南小学校区に属する地域には、この他に「かがやきの丘町内会」「コージガーデン自治会」「追分鴨田町内会」があります。「追分南町内会」が分町されることで、「小学校区(学区)」と「地区」が異なる状況が解消される条件が整うことを契機に、今年5月14日に4町内会の代表者による協議が行われ、平成25年度末で「志津地区まちづくり協議会」から脱退し、平成26年度から「志津南地区まちづくり協議会」に加入を申し入れることと合意、正式に加入を申し入れてきたものの通りです。

追分南 通学区区域の問題は、地域の大きな問題として残ってきた。この問題を解決できるタイミングは、

7月27日「夏まつり」第16回志津南地区ふれあい夏まつりは7月27日(土)午後5時から若草中央児童公園で開催されます。多数のご参加をお待ちしております。

追分南 通学区区域の問題は、地域の大きな問題として残ってきた。この問題を解決できるタイミングは、

地域資源回収  
 6月16日・7月7日  
 若草一丁目・五丁目  
 6月23日・7月14日  
 若草六丁目・八丁目  
 岡本町西・グリーンピア  
 回収品  
 古新聞(チラシと一緒に)  
 古雑誌・段ボール・古着  
 ☆朝9時までに自宅前へ

住居表示が実施される今しかないと思っている。かがやきの丘 通学区区域問題は、町内会活動にも様々な支障が生じている。かがやきの丘は、町内会設立当初より志津南への編入を見据えたスタンスで志津とも関わってきたので志津南への編入は賛成。コージガーデン・追分鴨田 以前から、通学区と地域の矛盾を感じていた。志津南に編入すべきタイミングは今だと思つ



### 社協がバザー開催



社会福祉協議会主催のバザーが5月19日、ふれあいハウス絆（第六集会所）で開かれました＝写真。

以前は小学校などで毎年開かれていましたが、久しぶりのバザーでした。

進物用のタオル等の日用品、子ども向けの遊具や古着、野菜などが町内の方々のご厚意で提供されました。

当日は朝からテントも設置され、若草六丁目の児童遊園とふれあいハウス絆の2階とがバザー会場となりました。

野菜、衣類、遊具、日用品、食器のコーナーに分かれ、開催時間の12時から途切れることなく訪れる人がありました。シールやキーホルダーなどが3個10円で並び、遊具コーナーや石けんや入浴剤、少し高めタオル類が破格の値段の日用品コーナーは人気がありました。

買い物をしたあと、ハウス1階の喫茶コーナーでコーヒー等を飲みながらのおしゃべりする人で賑わっていました。

今回のバザーの売上金約3万2千円は草津市社会福祉協議会を通じ、震災義援金として寄付されました。

ハウスでは今後もバザーなど新たな試みを計画しています。

志津南地区社会福祉協議会（小野栄祐会長）はこのほど、地域支えあい活動の一つとして取り組んでいる「チョットそこまでお出かけ送迎支援」について、住民みなさんのニーズを把握するためにアンケートを実施、399通の回答が寄せられました。回答率は42％でした。

それによりますと、現時点で送迎支援の利用希望者は20人（回答者の5％）で、そのほとんどの方は出かけることに不自由を感じておられます。利用頻度は「週1回」から「必要の都度」までさまざまです。

「利用しようとは思わない」の90人（同22％）に対して、今は必要ないが、いずれは利用しようと考えている方が282人（同70％）おられます。

送迎希望先は病院が最も多く、次いでスーパー、近所の施設など公共交通機関のないところへの送迎が望まれています。

また「心強い取り組みである」「年を取ればきつと必要になる」「あれば安心して暮らせる」などの意見が寄せられました。

詳しくは、各ご家庭に配布した「地域支えあい活動推進の調査」結果報告書をご覧ください。

皆様からいただいた、ご意見・ご要望などについては市と協働で検討していくことにしています。

## 社協の送迎アンケート

### 70％が「いずれ利用」と回答

とさまざまです。

「利用しようとは思わない」の90人（同22％）に対して、今は必要ないが、

いずれは利用しようと考えている方が282人（同70％）おられます。

送迎希望先は病院が最も多く、次いでスーパー、近所の施設など公共交通機関のないところへの送迎が望まれています。

また「心強い取り組みである」「年を取ればきつと必要になる」「あれば安心して暮らせる」などの意見が寄せられました。

布した「地域支えあい活動推進の調査」結果報告書をご覧ください。

皆様からいただいた、ご意見・ご要望などについては市と協働で検討していくことにしています。

## 新一年生歓迎会



志津南地区子ども会は5月11日、志津南市民センターで新入生歓迎会を行いました＝写真。

当日はあいにくの雨にも関わらず、一年生から六年生まで総勢74人の子どまたちが集まりました。

普段学校では話をする機会のない他学年とも友達になることができる楽しい集まりになりました。帰りには全員お土産をもらい笑顔で会場を後にしました。

その後、全学年混合の4つの班に分かれて、風船はさみゲーム、麦わらぼうし飛ばしゲームを行いました。その後、ビンゴゲーム、じゃんけんゲームを行い、子どもたちはさまざまな賞品をめざして競い合いました。

当日は初夏の好天に恵まれ、志津南市民センターを出発、竜王町の道の駅「かがみの里」、ブルーメの丘、「愛東マーガレットステーション」を訪ねました。

元気な女性陣は行く先々

した。

芝井早紀会長のあいさつ

のあと、一年生が自己紹介。一人ずつ自分の名前と好きな食べ物、好きなスポーツなどを恥ずかしげに話しました。

## 若寿会がバス旅行



で土産物を買ひ、帰りには両手に荷物の方も。かがみの里ではとくに野菜類が好評、たけのこは小さなものは3〜4本入って200円ほど。

次のブルーメの丘は、あいにく、花の端境期でチューリップが終わり、薔薇には早く残念でした。

最後のマーガレットステーションはメロンが有名で何人かがメロンを手に車中に。

この旅行参加費が知りた

い方にこそ。なんと2000円。バス旅行は秋にもあります。

60過ぎたら若寿会、入会をお待ちしています。

連絡先は鈴木（564）4224まで

## 子ども会が資源回収



子ども会は5月19日と26日の両日、午前9時から約1時間、子どもたちによる資源回収作業を行い、両日合わせて58人が参加しました＝写真。

リサイクルの大切さの説明を受けたあと、子どもたちはみんなでカートを持って、汗だくで一生懸命回収しました。地域の方々に「ありがとう」と声をかけられると、子どもたちはますます頑張っていました。

低学年の子どもが困っていると、高学年の子どもたちが優しく声をかけて手伝うなど、とても頼もしく見えました。資源回収終了後は若草中央公園に集合、ジュースで乾杯しました。

回収作業が終わったあと、6月9日（日）に野村運動公園で開催される草津市民スポーツの大なわとび・大玉リレーの練習をしました。



# 「泉」が水郷巡りバスツアー



和船の中で弁当に舌鼓

志津南地区社協のボランティアグループ泉（藤田清子代表）は5月10日、おひとり暮らし、昼間お独りの方たちとふれあいバスツアーを実施しました。

曇り空を吹き飛ばさんばかりの笑顔の参加者36人乗せ大型観光バスで近江八幡水郷巡りに出かけました。湖周道路を走るバスの窓から琵琶湖の対岸、湖西方面の比叡山、比良連峰を遠望しているうちに西国三十三所札所三十一番の長

命寺ふもとびわ湖観光汽船の船乗り場に到着。早速3隻の貸切船に乗船しました。

エンジン音も軽くヨシ群生地をめざし長命寺川を進みながら船頭さんは「私は沖島から応援に来ました。昔、沖島は神の島で人は住んでいなかったが平家に追われた近江源氏の落ち武者が住み着き島民はその子孫が多い」と150年ごろの歴史も話して下さいました。

門は琵琶湖の水位が30センチで開閉作動されるとか。なんなく水門をくぐりいよいよ西の湖へ。両岸は水面から青々と50〜60センチ伸びてきたヨシの群生地に入りました。ヨシの葉のにおいを感じるほど近い細い水路を走る中、葉先にヨシキリがゆらり。湖面にはカイツブリが船が作る波にゆったりと浮かぶ様子を見ながら船中でお弁当に舌鼓です。

ヨシは7、8月ごろには2〜3センチもなり、良質の門は夏座敷の建具に、並みは簾とか。広い沖合に進みますと淡水真珠の母貝養殖場筏が広がっています。八幡山、はるか安土山を望みつつ、ヨシに囲まれ静まり返った湖上には遊覧船が浮かぶのみ、原風景のことが浮かびます。水質浄化のはたらきを持つヨシの原の自然をゆったり味わって約1時間の遊覧は終了。午後は草津烏丸半島の道の駅で買い物などを楽しみました。



グループ「泉」

第7集会所でのささやかなふれあい昼食会や、ふれあいお茶会など充実したひと時を過ごしたことが懐かしく思い出されます。

その後、グループは青山若草とそれぞれ独立し、若草は11人（藤田清子代表）で新たに活動をスタートさせました。

歴史や小説の舞台を訪ねています。春と秋の年2回、市福祉バスを利用して出かけています。26回目となった、この5月には近江八幡水郷めぐりに出かけ新緑のヨシの原に大変喜んで下さいました。

園の秋まつりに参加しバザーのお手伝い。また志津南地区まちづくり協議会の催しにも参加しています。

私たちがボランティアグループ「泉」は地区健康推進員さん、民生委員さんたちの協力を得て、継続が大切との思いから和気あいあいと活動しています。

「泉が湧くがごとく」地域が心豊かになるようお願いし、無理をせずボランティアに参加することは自分の生きがいにもつながると思います。どうかお力をちょっと貸して下さい。いつでもお待ちしております。

ボランティアグループ「泉」は20数年前、住民同士の交流を深め友達の輪を広げようと第3集会所を拠点にして20数人が集まりグループ（松本孝子代表）当時）を結成しました。

当初は青山地区からのメンバーもいて活動は特別養護老人ホーム桐生園へ月に1度の訪問、また福祉施設むつみ園で縫物業、そして

現在行っている主な活動は▽ふれあい昼食会（毎月第1金曜日正午から午後1時まで志津南市民センターで実施。おひとり暮らし・昼間お独りの高齢者の方々約35人に案内状を届け招いています。献立は季節感を取り入れ温かいお食事と温かい心のもてなしをしようと開催日には、参加者と笑顔の再会を楽しみにお待ちしております。

▽ふれあいバスツアー（ふれあい昼食会参加者を対象に郊外研修を実施、近郊の

▽ふれあいお茶会（毎年秋（11月、日時は未定）に市民センターを会場にのしいお菓子を添え、お抹茶を提供しています。地域のみなさんには回覧でご案内しています。

【連絡先】藤田清子（567）3633

また、短い時間でしたが、適度な運動で楽しく時間を過ごして頂けたとともに、コミュニケーションの深まりにも役立てることが出来ました。

ふれあい昼食会でウデをふる「泉」のメンバー



その他、福祉施設むつみ

フリー参加の20人と体振委員合わせて約40人により、競技内容・ルールの紹介と練習に続いて、当初の予定にはなかったフリー参加のトーナメント形式での対抗試合を行いました。

試合をしているうちに用具の扱いにも慣れ、だんだんと白熱した試合が見られ

田中絹代の演じる看護師高石かつ枝と、上原謙演じる医師津村浩三の純愛物語です。田中絹代の可憐さ、上原謙の華やかさがスクリーンにいきいきと蘇りました。花も嵐も踏み越えて…で始まる有名な主題歌が流れると、知らず知らず一緒に口ずさんでいました。

参加した23人のアンケートでは「青春時代を思い出した」「現在にも通じる名作」「感動した」「上映当時は見られなかったが、やっと見られた」などの感想が寄せられました。

なお、今後もさまざまな企画を進めていきますのでご参加ください。

## Nスポーツ講習会



志津南体育振興委員会は5月25日、志津南小学校体育館でニュースポーツ講習会を開催しました。写真。

志津南市民センターは5月29日、高齢者等の社会参加や生きがいづくりにつなげる高齢者等つどい推進事業の一環として第1回名画鑑賞会を同センターで開催、往年の名作「恋愛かつ枝」を上映しました。

### 第1回名画鑑賞会

志津南市民センターは5月29日、高齢者等の社会参加や生きがいづくりにつなげる高齢者等つどい推進事業の一環として第1回名画鑑賞会を同センターで開催、往年の名作「恋愛かつ枝」を上映しました。田中絹代の演じる看護師高石かつ枝と、上原謙演じる医師津村浩三の純愛物語です。田中絹代の可憐さ、上原謙の華やかさがスクリーンにいきいきと蘇りました。花も嵐も踏み越えて…で始まる有名な主題歌が流れると、知らず知らず一緒に口ずさんでいました。

参加した23人のアンケートでは「青春時代を思い出した」「現在にも通じる名作」「感動した」「上映当時は見られなかったが、やっと見られた」などの感想が寄せられました。

なお、今後もさまざまな企画を進めていきますのでご参加ください。



### こよみ

- 6月15日(土)
  - ☆健康ウォーキング
  - 8:15 若草中央公園集合
- 6月22日(土)
  - ☆社会奉仕
  - 8:30~
- 6月25日(火)
  - ★地域サロン: 懐メロを歌う会
  - 10:00~11:30
- 6月26日(水)
  - ★やすらぎ学級
  - 13:30~17:00
- 7月5日(金)
  - ★ふれあい昼食会
  - 12:00~13:00
- 7月6日(土)
  - ☆健康ウォーキング
  - 8:15 若草中央公園集合
- 7月7日(日)
  - ☆町内一斉清掃
  - 8:30~
- 7月9日(火)
  - ★地域サロン: 懐メロを歌う会
  - 10:00~11:30
- 毎週金曜日
  - ☆ふれあい喫茶(お茶の間)
  - 10:00~12:00
  - 若草第五集会所
  - ★印の会場は志津南市民センター(公民館)です

## やすらぎ学級が開講



平成25年度「志津南やすらぎ学級」の開講式が5月24日、志津南市民センターで行われました。

開講式終了後に第一回講座(公開講座)が開かれ、41人が参加しました。

大阪ガス福祉財団の協力により音楽療法グループ「アン・ディ・ムジーク」代表の山田由紀子さん

が「うた広場」と題し、参加者とともに楽器を鳴らしたり、手ぬぐいを使った体操をしました。写真。

またアフリカの太鼓やマラカス、鳴子など、様々な国の楽器を手に、最初は唱歌や「野ばら」を合唱、演奏。場も活気を帯びたところで、「トルコ行進曲」を各楽器のパートに分かれて演奏しました。ハンドベルのような楽器、チャイムを使い、「知床旅情」を18人で演奏、ミニオーケストラのような雰囲気でした。

続いて手軽に出来る手ぬぐい体操をして、普段あまりしない上腕を使った体操で体をほぐしました。

リクエストで「里の秋」と「いつでも夢を」を歌い、

最後に「今日の日はさようなら」を合唱しました。笑い、歌い、演奏し、体が

## 上桐生で自然を楽しむ



志津南地区地域協働合校事業「上桐生で自然を楽しむ」が5月25日、同地で行われ、子どもたち26人と保護者6人、健康推進員15人が参加しました。写真。

好天に恵まれた中、NP

を動かし参加者は心と体による元気になる楽しい時間をすごしました。

O法人シニア自然大学校「京とおおみ自然文化クラブ」から3人の講師を招き、大津市の「桐生若人の広場」から散策に出発。逆さ観音を見て、たまみずきの道では木の名前などを教えてもらい、木に聴診器を当てたり、葉っぱを虫眼鏡で覗いたりと楽しみながら勉強しました。

お昼には健康推進員連絡協議会の「はつらつウォーキング」と合流し、豚汁と一緒にいただきました。その後、指体操・じゃんけんゲームをしました。

ウォーキングの参加者と

別れた後は、講師の指導による工作が行われ、子どもたちは木片にメロンの種などを貼って色つけをしたペンダントや、どんぐりに顔を書いたストラップを作りました。子どもたちは夢中で取り組みながら一人3つ、4つと作品を作っていました。

### 健推がウォーキング

志津南地区健康推進員連絡協議会は5月25日、はつらつウォーキングを実施しました。写真。



参加者25人は、市民センターを出発、桐生キャンプ場から「たまみずきの道」へ約2時間半のハイキングを楽しみました。

今回は現地で地域協働合

校の子ども達と合流し、市民センターで作って持参した豚汁と一緒に食べたり、「指あそび」や「じゃんけんゲーム」をして過ごしました。いつもの参加の方からは「ちよんどのいい距離」。また、初めて参加の方は「2万歩も歩けた。また参加したい」と次の秋のウォーキングを楽しみにしてくれました。

梅雨前の快晴の日、鮮やかな新緑が目にし、さわやかな風が心地よく感じられた一日でした。

## 折々の記



先日「野草を食べる会」という企画に参加し、栗東の田園地帯や川べりを散策しました。

ベビーカーを押したお母さん、子ども、若者、年配の方、総勢約30人でワイワイ出発しました。吹く風もさわやかで、水をはった田んぼからは蛙の鳴き声が聞

### 野菜の味

イタドリは葉っぱと細長い茎の植物で、茎の皮をむいてかじると、酸っぱい味があります。私にとっては小学校の帰りに摘んで食べた懐かしい味です。

ニホンタンポポはサラサラと、椿の花は天ぷらに、と

こえてきました。

まず川べりでカラスノエンドウとイタドリを摘みました。カラスノエンドウはミニエンドウ豆のような姿で紫の花が咲きます。天ぷらにするとおいしかったです。

摘みました。

子どもが「お花食べるん? ままごとみたいなのはんやな」と言ったのがおかしかったです。

旬に合わせて採って食べるのは食事の本来の姿です。どんな野菜も年中食べられるようになり、手軽に買ってしまうので、「旬の味」を忘れてしまいがちになります。

何気なく通る道や駐車場の片隅にも野草のおかげで小さな発見があります。

改めて自然のありがたさ、季節の変化を身近に感じられた一日でした。

(H・S)